

日本の竹ファンクラブ通信

編集・発行 日本竹類総合研究所・特定非営利活動法人日本の竹ファンクラブ
横浜市都筑区中川1-5-19 プロミネンス14-304号 TEL&FAX: 045-306-9993 MAIL: office141@takefan.jp
URL: http://takefan.jp
現在の会員数 正会員 128名/準会員 8名/賛助会員 個人 16名・団体 2・法人 3 (竹取協力隊 110名)

竹FCは20周年を迎えました！

次世代育成と一体となった森林ESD活動への転換

竹FCは4月で満20歳になります。この20年間を振り返り、次の10年の戦略を考えたいと思います。当初の10年間はまさに黎明期、竹の可能性を求めて活発に活動を展開した時代です。次の10年間はそれまでの延長線上を走った過渡期の時代といえます。そしてこれからの10年は転換の時代に、社会も「持続可能な発展」「次世代育成」へと変化しています。新しいレールを敷き、新たな竹の可能性を求めて歩を進めたいと思います。

1999年9月、日本の竹ファンクラブ発足

◆この頃、全国の森づくり団体は数百、40〜50代の団塊の世代を中心に市民参加型里山保全活動が始まった時代です。日本初、竹専門の団体として発足した竹FCは全国の竹事情を調査研究した「全国竹の名鑑」の刊行を皮切りに「竹林の里親制度」「竹の学校」「竹取協力隊」「出前講座」「竹灯籠祭り」等の事業を立ち上げます。竹の学校第1期コースは195名の定員に対し400人の応募

募を記録、この年3期までに900名の方が受講されました。フィールドも小机、国際プール、愛川、中井、こどもの国、伊豆の国と増加、会員数、竹取協力隊の隊員数も増加を続け活発な活動が展開されました。2010年4月、10周年を迎え、第二ステージへ

◆この頃には、全国の森づくり団体は2千超に、参加者の世代別割合は50代60代の割合が80%を超え、活動の沈滞化が懸念され始めます。FCも高齢化が進み、会員数も250名をピークに減少に転じます。事業プログラムも縮小、フィールドも折本が増えたものの愛川の活動が中止に、次年度からは伊豆の活動も休止となり、過渡期を迎えることとなります。2020年4月、20周年を迎え、第三ステージへ

◆今日の全国の森づくり団体は3千超、参加者の平均年齢も70歳を超え、森づくりの危機が叫ばれるようになりました。社会環境も「持続可能な発展」「次世代育成型」に変化してきました。FCのこれからの10年も環境の変化に対応すべく基本戦略の転換を図ります、普及啓発活動を中心とした新しい人との出会いを求めたプログラムの拡充に取り組みます。特に竹の学校のプログラムを充実して森林ESD(竹林・里山を活用した持続可能な発展のための次世代育成システム)を活用した次世代育成活動に注力して行きたいと思えます。

理事長 平石 眞司

小机城址支部



前回の活動の続きを行いました。竹灯籠を片付けるチッパー班と竹垣を改修する班の2班での作業です。しかしチッパー班は機械を使用せず竹割を始めて、その竹を竹林内の窪みに切り口を上向きにして積み上げました。燃料費の節約と2、3年後には土に返り肥料代わりになることを期待しています。また合わせて全地域に施肥を行いました。

竹垣の改修は冷たい北風の吹く中、竹穂垣



活動日 12/1・7、1/19・25、2/9 延参加者 56名

の古くなった場所の5スパンを解体・改修し見事に完成させました。12月7日は最終活動日であり反省と慰労を兼ね会員Aさん宅の庭にてBBQでした。1月19日は午前で作業を切り上げ、近くの中華料理ドラゴンにて今年の安全を祈念し新年会を行いました。また、年末の忙しい中、有志活動に参加していただきました皆さんお疲れ様でした。担当…眞板保昌

横浜国際プール支部

年末の竹林は寒肥え時期、春の竹灯籠まつりに向け力が入ります。まつりメイン会場となるサブプールの法面は年々法尻が後退し、その角度が徐々に大きくなっていきます。この落葉を全員でレーキを使い掻き落とし、中央のモウソウチクエリアと合わせて化成肥料を1400㎡に撒布しました。ホームセンターでチツソ・リン酸・カリ比が8:8:8を10kg、14:14:14の高度化成10kg仕入れてブレンドしたものを撒布し春の恵み”竹の子”に期待を込めました。オリンピックイヤー幕開けは雨!みぞれ!雪でした。集まった5人の精鋭も肩をすぼめて竹林へ、11時でノー



活動日 12/15、1/12、2/9 延参加者 22名

サイドの笛を吹き暖かい所へ速やかに移動でした。そんな1月から一転、上を見上げれば空はウインタールー! 2月の活動はホツカホツカのなか汗も出ました。午前はマダケ林の整備、午後からモウソウチクの間伐、二回目参加となる現役の植木職人さんも来て、久々に活気ある林浴の庭の竹林でした。担当…根岸秀行

こどもの国支部

こどもの国園内では、子ども100円、大人150円の自転車乗り場では7種類の自転車遊びができます。その一つに桜並木や私たちが整備している竹林を通る全長1.6キロのサイクリングコースがあります。平日火曜日の間伐作業中でも若者や親子連れがペダルを漕いで楽しんでます。そのため道路そばでは、自転車の通行を妨げるのではないよう声掛け合つての作業となりますが、コースに迫り出した急斜面の竹林は間伐の機会もなく枯れ竹、折れ竹などが密集することになります。そんな折、自転車乗り場の担当者から「道路を閉鎖するので竹林の整備を」と依頼されました。日頃から気になっている竹



活動日 12/10、1/14・28(雨天中止)、2/4 延参加者 27名



林を美化出来るとなり、このときばかりは協力隊の士気はあがります。そしてこの日は、そこそこの達成感で満たされます。園内ではこれからの季節、梅に続いて桜の開花が楽しみです。どうぞ、こどもの国へおいで下さい。担当…丹治 薫

中井町支部

当期間の作業活動前半は、フィールドの中心部より東側方向の整備を行い、中間よりトイレ南側下の再整備に移行しています。

作業内容は、間伐・切倒し残骸処分・運搬・焼却・等の処理活動を行っています。

当期間に、お礼肥の散布予定でしたが、折れ竹や根元整備を優先しており、2月後半に実施予定です。

竹垣作りは、旧竹垣の老朽化の激しい休憩所前を手掛けています。今回は、従来の四つ目垣だけでなく、鉄砲垣・金閣寺垣等幾つかの種類で制作中です。イベント参加の時には是非ご覧ください。

担当…石川正壽



活動日 12/12、1/9・23、2/13
延参加者 42名



都筑折本

12月19日は前回の作業に引き続き台風被害の竹や枯竹の伐採を行いました。製作中の小屋の材料として切った竹の稗は半割にして屋根用、笹は穂先垣根で風の壁用に使います。屋根材の二つ割は節を全部取り除くと急な乾燥収縮で丸くなるので保管中は所々節を残し伏せて保管します。

1月26日は途中から参加した人も含めて6名が参加です。この日は平成27年9月に折本で作業を開始して



コンフォートホテルCSR活動の応援

12月16日小机城址市民の森にて、全国で「コンフォートホテル」を展開する株式会社チヨイスホテルズジャパンの25名が参加するCSR(企業の社会的貢献)活動を、認定NPO法人樹恩ネットワークの依頼で開催しました。



参加者はクラブ会員から見れば、孫の十数年後と言つていい程の若い人たちがばかり(圧倒的に女性が多く)、北は北海道、南は沖縄からこの日のために参加してくれました。

お昼にはNさんが持参の野菜と鯖の水煮缶詰で熱々の味噌汁を現地製作の竹のお椀と箸で頂き冷えた身体を温めました。小屋の完成までと少しです。

活動日 12/19、1/26 延参加者 10名

から丁度50回目の定例作業でした。作業は小屋の製作を続けていよいよ屋根葺きです。以前準備した二つ割の竹の残りの節を取って梁の上に向き、下向きに互いに重ね合わせ繋げて並べ、ほぼ半分ほど終わりました。

この様な企業の活動、社会人の小さな力がネットワークとなり、失われつつある自然環境の保全に大きな役割となるような感じがしました。

報告…大泉正太郎



池上小学校総合学習

12月11日 菅田町

池上小学校4年2組に2人で行きました。先生から紹介後、生徒代表から総合学習で竹をテーマに取り組んだ、これまでの活動内容、地域の竹林で竹を伐り竹の Copp、竹ぼうきを作ったこと、今日は竹細工教室のため、作りたい物の竹の材料を準備したことの発表がありました。次にSさんから竹について種類、歴史、活用方法、また放置竹林の状況等を話し、日本の竹ファンクラブのボランティア活動の説明をしました。その後各自希望の竹細工グループ（削りだし竹トンボ、花入れ、竹灯籠、カタツムリ、紙鉄砲）毎の工作のお手伝いをしました。刃物の使用経験もあり

北山田どんど焼き

新年の地域の風物詩

である「どんど焼き」が一月十二日(日)に行われ山田富士公園のドンド焼きは地域でも人出と、規模の大きさでも有数である。

「日本の竹ファンクラブ」も北山田町内会に毎年協力して年中行事の一つにも成っている。天気予報では雨の心配も有ったが当日は雨風も無く絶好の日和で当会員も15名と多く参加が有った。八時半集合、中心に



青竹を四角に立てその回りを井桁状で組む。もう何年もの経験で手際が良い。

地域住民が持ち寄ったダルマを頂上に配し門松・しめ縄・正月飾り等々縁起物が周囲を飾り、綺麗に出来上がった。

十三時半着火、大きな火柱が立ち上がり時折パンパンと破裂音を発すると周りの子供達から幾度もオーと歓声が上がります。消防団の手助けを借り40分位で火が収まるのを待って、

ミニ門松づくり

12月21日の寒い日、

北山田地区センターにて正月用のミニ門松講座です。

4名の講師が出向き、今年のお客さんは7名の参加でした。

安全・無病息災等々を願う家路につく。

この段階で今年の竹ファンクラブでスタートした行事が無事に終了、ご苦労様でした。報告…政所七郎



土台の下部のコモの裾を放射状に広げる事に四苦八苦しながらも完成したミニ門松の写真撮って頂きました。材料のコモ、粃殻、松葉等を長野から送って頂いたYさんのお陰で今年も開催できました。ありがとうございます。報告…榮 千彰



TAKEFAN NEWS

フィールド活動休止のお知らせ

平成21年5月に始まった伊豆の国市韮山金谷地区の竹林整備は、活動を休止いたします。地元の方々との協働は約11年でしたが、ご協力いただいた多くの皆様に感謝を申し上げます。

「竹灯籠まつり」に参加しましょう！

本年も下記の通り「竹灯籠まつり」を開催します。準備も含め作業日数が非常に多くなっています。出来るだけ多く参加して下さいようお願い致します。

■4月4日(土) 第13回横浜国際プール「竹灯籠まつり」林浴の庭(雨天の場合翌5日に順延)

■準備期間・前日・当日のスタッフ募集中です。

お手伝いいただける方は同封の申込書に必要事項を記入の上、事務局までお申込み下さい。

令和二年度会費納入のお願い！

4月は会費更新の月です。

継続してクラブの活動をご支援下さい。

会員種別を明記の上お申し込みください。

◆入会金 1,000円

(新規入会の正会員希望の方のみ、継続会員は不要)

◆会費種別

正会員 個人 2,000円

(入会して、総会の議決権を持つ個人)

準会員 正会員の家族 1,000円、学生 1,000円

(入会し、総会の議決権を持たない個人)

賛助会員 個人 3,000円、法人以外の団体 5,000円、法人 30,000円(各一口以上)

(活動を支援するために入会した個人、法人及び法人以外の団体で、総会の議決権を持たない)

◆<振込先>郵便振替 00270-0-69084

特定非営利活動法人 日本の竹ファンクラブ

Cool
Takefan

◆ちょうど一年前に、休眠預金活用法に基づき金融機関に預けたまま10年以上出し入れがない休眠預金の活用に向けた

審議会が開かれ、令和2年度に最大40億円を公益事業の助成に充てる基本計画案が示された ◆そして昨年秋から一般財団法人「日本民間公益活動連携機構」を通じて、11月にはボランティア団体や非営利組織に配られる資金分配団体が決定し助成が始まった ◆昨年の台風19号から3か月たっても奥多摩町では、唯一の都道が崩落し約40世帯が孤立していて、地区外への往来は仮設パイプ組の通路を歩いて渡る状態が続いている ◆全国で人口減少となり老朽化したインフラの維持が自治体の予算を圧迫しているが、災害に強い公共インフラ施設化事業へ分配できる資金はないのだろうか。

「たけの子するめ」店舗販売開始！

竹ファンショップ(ネット販売)につづき、2月からファームドゥ株式会社(本社:群馬県前橋市)の「地産マルシェ大倉山店」にて販売を始めました。

「よこはま夢ファンド」寄付をおねがいします

日本の竹ファンクラブは横浜市の「よこはま夢ファンド」の登録団体です。ふるさと納税制度での寄附応援を下記ご参照の上、おねがいします! 昨年度は会員10名、一般3名の方に支援をいただきました。よこはま夢ファンド(市民活動推進基金)は皆様のご寄付で市民活動を支える横浜市の基金です。環境保全、福祉や国際交流などの活動分野のNPO法人の公益的活動への助成などに活用されます。皆様からの寄附金は、この基金に積み立てられて活用されます。寄附希望の団体名に日本の竹ファンクラブと、ご記入をお願い申し上げます。

●特典は横浜市のほか1万円以上寄付の方に日本の竹ファンクラブは当該年度の年会費、入会金等を無料とします。

●基金への寄附は、支援したい団体の活動分野や団体名を指定することができます。

●基金へ寄附をすると、所得税や法人税について寄附金控除など税の優遇措置が受けられません。法人の場合は、寄付金の金額を損金として計上できます。(日本の竹ファンクラブに直接寄附をいただいても、寄附金控除の対象にはなりません)

●税制上の優遇措置詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/tishin/shiminkatsudou/fund/tax.html>

●寄付申込先・Eメールの場合: sh-fund@city.yokohama.jp

・郵送の場合: 〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-56
みなとみらい21クリーンセンタービル7階

横浜市市民局市民活動支援課よこはま夢ファンド担当

・ファクスの場合: 045-223-2032

横浜市市民局市民活動支援課よこはま夢ファンド担当

2019年度総会6月21日(日)開催

2019年度総会を下記の通り開催します。

別途案内状差し上げますのでご出席下さい。

日時 2020年6月21日(日) 13:00~14:00

場所 城郷小机地区センター

内容 総会 主な議題

- ① 2019年度事業報告並びに収支決算・監査報告
- ② 2020年度事業計画並びに収支予算書
- ③ 役員改選

懇親会 カンカン商店新横浜店 14:30~

会費3,500円(懇親会参加者のみ)

新入会員紹介 下線は竹取協力隊入隊者

◆狩野直樹(藤沢市)(敬称略)

【活動報告】 2月16日(日) 第5回理事会
2月29日(土) 通信春号発行

予定表

※**学校管**：竹の学校「竹林管理コース」 ※**協力隊**：竹取協力隊の定例活動 ※**援農隊**：竹取援農隊の定例活動

※**イベント**：詳細はチラシ又はホームページでご覧下さい。

4月3日(金) 協力隊	横浜国際プール まつり前日準備 10:00~15:00
4月4日(土) イベント	横浜国際プール (要事前申し込み) 第13回竹灯籠まつり(予備日5日) 9:00~21:00
4月5日(日) 協力隊	横浜国際プール まつり材片付け(予備日6日) 10:00~12:00
4月8日(火) 援農隊	都筑折本 竹林整備 10:00~12:00
4月12日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠割り、密度管理 10:00~15:00
4月14日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
4月17日(金) 協力隊	横浜国際プール 10:00~15:00 竹灯籠割り・チップ化、密度管理
4月18日(土) イベント	小机城址市民の森 (要事前申し込み) たけのこ掘り 10:00~12:00
4月22日(水) イベント	都筑折本 (要事前申し込み) 筍掘り 10:00~12:00
4月23日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
4月24日(金) 協力隊	横浜国際プール 竹灯籠チップ化 10:00~15:00
4月26日(日) イベント	都筑折本 (要事前申し込み) 竹林親子学習 10:00~14:30
4月28日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
5月3日(日祝) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 竹林整備と密度管理 10:00~15:00 講義：竹の由来と生態 9:00~12:00 実習：穂先筍収穫と竹水作り 13:00~15:00

5月9日(土) 援農隊	都筑折本 竹林整備・密度管理 10:00~12:00
5月10日(日) 協力隊	横浜国際プール 竹林整備と密度管理 10:00~15:00
5月12日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
5月14日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
5月23日(土) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 若竹伐採 10:00~15:00 講義：筍の育成と管理 9:00~12:00 実習：若竹伐採と竹水取水 13:00~15:00
5月26日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
5月28日(木) 協力隊	中井町 竹林の間伐 10:00~15:00
6月3日(水) 援農隊	都筑折本 若竹伐採 10:00~12:00
6月7日(日) 協力隊 学校管	小机城址市民の森 若竹伐採とお礼肥え 10:00~15:00 講義：竹林の管理と育成 9:00~12:00 実習：若竹伐採とお礼肥え 13:00~15:00
6月9日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
6月11日(木) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
6月13日(土) 協力隊	中井町 (要事前申し込み) マダケの筍狩り 10:00~12:00
6月23日(火) 協力隊	こどもの国 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
6月25日(木) 協力隊	中井町 親竹の選定と密度管理 10:00~15:00
6月28日(日) 協力隊	横浜国際プール 10:00~15:00 若竹伐採と下草刈り(マダケ)